

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 930円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

3月議会報告 傍聴記

防災対策とアスベスト対策の強化を

岩井議員の質問



3月議会は2月21日から3月14日まで開催。日本共産党市議団の質問は2月29日に行われました。

岩井議員は3つの質問をしました。

1つ目は、防災対策についてです。防災ラジオの検討と実施は…防災ラジオは様々な課題があり防災無線とSNSサービスを考えていると答弁。昨年の大雨では防災無線が聞こえなかったことを再質問すると、来年度6月にアンケートをとり市民ニーズをとらえながら情報発信していくと答弁しました。

2つ目は、太陽光発電など可能な公共施設の数と計画について…市は9施設で耐震確認。いつ設置するかの計画は立っていない、財源がなく民間活用で進めたいとの答弁。毎回答えが同じで進んでいないとの再質問に、副市長は新たな制度で進

めてゆきたい、まもなく議会でも報告できると思うと答弁しました。

3つ目は、我孫子市庁舎の施設改善の質問です。①市庁舎は洋式トイレが少なく現況と洋式に変える計画は…東別館は全て洋式で他は混在。工事は令和8年度実施との答弁。②身障者の議会傍聴が困難な状況、改善の計画は…職員が案内する。またHPで配信していると答弁。



我孫子市役所

③エレベーターは西別館のみ、高齢者・身障者対策の計画は…近くの職員に声掛けしてもらえばサポートするとの答弁。

長期計画をたててもらいたいとの再質問に市長は庁舎が50年たつて増設は構造上難しい。移転・建替えしか方法がないと答弁。これに対し、検討結果を市民に広報などで告知を要求しました。

船橋議員の質問



船橋議員は市内建物のアスベスト対策の質問をしました。

①市内建物のアスベスト使用状況の市の認識について…1975年から段階的に禁止、2006年に全面禁止となった。労働者の認定や、市町村単位の被害者数は公表されていないので確認できないと答弁。②アスベスト調査等に係る助成金の創設について…調査は必要。国の支援制度を調査研究してゆきたいと答弁。③石綿障害予防規則改正後の工事の監視体制の強化について…千葉県労働局、柏労働基準監督署から依頼があった時は協力すると答弁。



日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



ら依頼があった時は協力すると答弁。最後に、船橋議員は長年建設業に従事しており、アスベスト訴訟では国が非を認めたが、建材メーカーはいまだに認めてお

二本榎踏切前通学路に安全ポール設置



船橋議員は3月議会です、市の対応に感謝の言葉を述べました。

全ポールを要求しました。これに市が早速対応して実現しました。見守りをする船橋議員と安全ポール

花より赤福 お花見報告

3月31日、我孫子南地域後援会主催のお花見が手賀沼公園で開かれました。



残念ながら桜は未だつぼみで、やっと一つか二つ花びらが開いた様子。それでも天気は上々。後援会のSさんの歌唱指導とギター演奏で、青春時代の歌を皆で合唱。そ

して一昨年のしらかばで紹介されたご自身の作詞作曲「美しい街から」を初披露。満開の桜はお預けでした。お酒が参加者を持ち寄った赤福をつまみながら「花より赤福」の和やかなお花見でした。

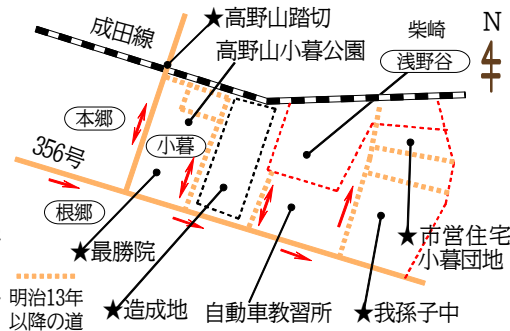
オオバン

今年も「アンデパンダン展」が開かれた。ご存じの方もおられると思うが「時代の表現・生きる証」と表現された作品の出品を促し、今年で77回を数えた。私は元より絵画等に精通している訳ではないが何か引き付けられるものがあり毎回足を運んでいる。広い会場に絵画だけでなく彫刻あり、加工された材料や、段ボール、糸などを使い独自の発想により表現されている。今回で77回、戦後すぐはこのような展示会が始まり言論出版表現が抑圧された時代にあっても続けてきたことになる。今回の作品はおもて絵画が中心となっているが、昨今の世界平和を願う思いから、ガザやウクライナの人達に心を寄せたと思われる作品が多く目に留まった。又、日本の現政治が反映され、戦争の危険に向けたものや、批判が多く作品から受け止められた。▼その中には我孫子在住のIさんのものがあり、Nさんの「平和を求めて革の花」とする革工芸の作品は多くの作品の中で異彩を放っており毎回出品されている。▼全国展のなかで自分のことのように誇らしく高揚し満たされた思いで会場を後にした。次回が待ち遠しい。

(緑 S)

(N)

我孫子古道巡り 2070 高野山から手賀沼へ②



今回は高野山の「字小暮」地域を巡ります。

前回巡った356号(旧水戸道)をさらに東に向かいます。やがて北側に「最勝院」が見えてきます。お寺の前の道を北に向かうと「高野山踏切」です。



成田線・高野山踏切

踏切からは泉のマンション群が見渡せ、道はさらに柴崎まで続いていきます。最勝院は真言宗豊山派の寺で、天正20年(1592)



最勝院・改修中

に高野山村の草分けの家々が建立したようです。また第27番札所があります。

この寺から東側は「字小暮」と呼ばれ、山林が密集し屋なお暗い場所だったようです。寺の北側には「高野山小暮公園」があります。

東に歩き、緑地だったところが現在造成中です。



造成地・擁壁の右が浅野谷

のあたりには「日枝神社」がありました。高野山香取社に合祀されました。東に歩くと「我孫子自動車教習所」です。昭和36年



我孫子中

に千葉県公安委員会の指定を受けました。その奥の低地は、柴崎の飛び地「字浅野谷」です。

東に向かうと「我孫子中」

です。昭和25年に高野山に移転し、その後昭和51年に久寺家中が分離、昭和54年に白山中が分離しました。



市営住宅小暮団地

我孫子中の北側には5棟が建つ「市営住宅小暮団地」があります。

参考文献「我孫子の地名と歴史」(栄関口)

しらかば文芸欄 19 書道・寿 芳華



しゅんぷうせんり 春風千里

常磐線あれこれ 38

線門司港―久留米(交流)、山陽本線下関―小郡(直流)も電化開業しました。そして

(緑竹内)

常磐線電化が勝田から先、高萩(1962年)、平(現いわき)・草野(1963年)と北上するのと並行して、3ドア赤電(401系)は増備と同時に電動機・制御機器・整流器・ブレーキ装置などの電気機器や客室・乗務員室に改良が加えられました。

1971年4月に綾瀬―我孫子間の複雑線化が完成しました。このとき常磐線緩行線(各駅停車)の地下鉄千代田線直通運転と上野―取手間の快速運転が開始しましたが、快速線を運転する中距離電車を増発するために401系のモデルチェ



赤電(415系)

実は常磐線が勝田まで電化した時、同時に鹿児島本



「チューリップ」 若松・高橋祥子